

## 入賞

一般建築物の部

建築主：ホテル海楽株式会社  
設計：一色ヒロタカ+中村篤史/studio Irodori建築設計事務所  
施工：株式会社石井工務店  
小山建築工務株式会社  
所在地：夷隅郡御宿町新町539

古いものを最大限生かした宿

# 御宿 海楽

外房線御宿駅より徒歩にて、5分ぐらいの位置に1967年創業老舗、御宿海楽「おんやどかいらく」と建物の名称がなされたホテルが目に入り、ファサードの部分による歓迎の心が、よりよく表現されているのが、心地良く感じられる。

建物は、工事費坪単価5万円という条件の中でリノベーションをされたホテルであり、数々の提案がなされているのには、大きく感動するところでありました。

建築設計という枠組に古いものを最大限活かし、最小限の新しいものを継ぎ足していく手法により費用対効果を高めるものになっていると思います。

ロビー廻りのテーブル、荷物置に茶箱、客室の採光を意識した障子、続き間、新設床と床間の色使いに工夫を凝らした古さを感じない空間、倉庫があった場所をライブラリーにするなど、ローコストを感じさせない工夫があります。もちろん照明、壁、天井の空間色彩を考えられていることに、もう一度納得です。

宿としての建物、そして食事を楽しめる宿、一般利用者だけでなく地元の人々の利用も多くなってきていることは、空間に人を定着させていく居場所作り、既存空間の活用と更新と多くのテーマをまとめた複合的なリノベーションの結果であり、これからの展開に期待します。

(竹江 文章)



地域拠点としての活動の見える化と、サインを統合したファサード



既存の木部を活かし、床壁天井へ最小限の操作を加える

(撮影/鳥村鋼一)

## 入賞

住宅の部

大屋根の下、テーブルの周りで思い思いに過ごす

# ナガレノイエ

「あっ!階段のステップがテーブルに。」誰もが目を見張る特徴だろう。このテーブルの周りでどんな生活が繰り広げられているのか。わくわくする感情が溢れる。

敷地は流山市郊外の緩やかな勾配に沿った住宅地にあり、「ナガレノイエ」の名のとおり勾配のある大屋根の外観が目にとまる。道路からなだらかな斜面(庭)で繋がる先の大屋根の下に開放的な土間が広がる。外土間は、近隣とのコミュニケーション、子供の遊び場など暮らしの領域を広げながら、室内の土間へ繋がっている。

室内は、道路との高低差や外土間の軒によって、街とほどよい距離を保っている。大屋根の中心が冒頭のテーブルである。テーブル上の階段の位置は設計段階での試行錯誤と建て主とのやりとりで決まったようだ。テーブルの周りは床レベルや天井高の違う、土間のソファ、小上がり、和室、水回りが展開される。テーブルは食卓、調理台、勉強机、下部は収納として使われ、そして2階に上る家族が横切る。大胆な空間構成は家族の気配を常に感じ、自然とお互いの配慮をしつつ、思い思いの場所で過ごせるよう計画されている。

この動線計画と空間構成が融合した「ナガレノイエ」は、ひとつの新しい生活スタイルを発信したと感じた。

(藤本 香)

建築主：K氏

設計：一級建築士事務所ikmo

施工：株式会社 須賀工務店

所在地：流山市



環境や暮らしの領域を調整する外土間



プラットフォームとしての土間とテーブル

(撮影/新建築社写真部)